

会津若松市における介護保険事業の現状分析

～ 県内他市との比較 ～

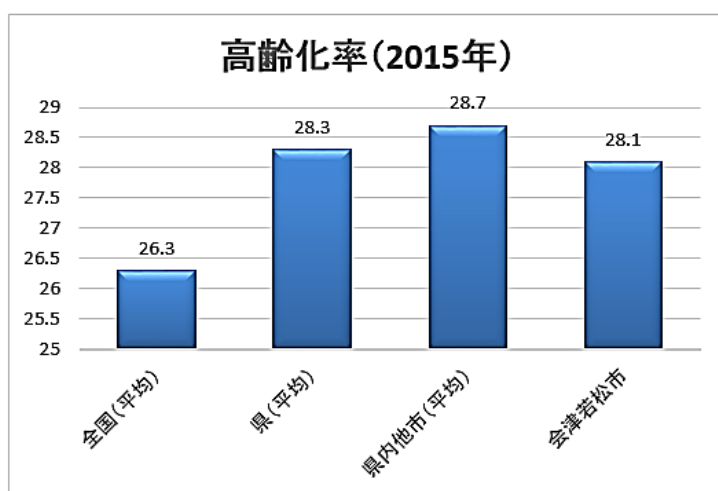
令和2年度

1. 概要

地域包括ケア「見える化」システムを用い、本市における介護保険事業の現状把握及び県内他市等との比較による現状分析等を行い、課題を抽出するとともに今後の施策検討のための参考とする。

2. 高齢化率

本市における2015年時点での高齢化率は28.1%と、県及び県内他市の各平均よりは若干低いものの、全国（平均）と比較すると、1.8%高い。

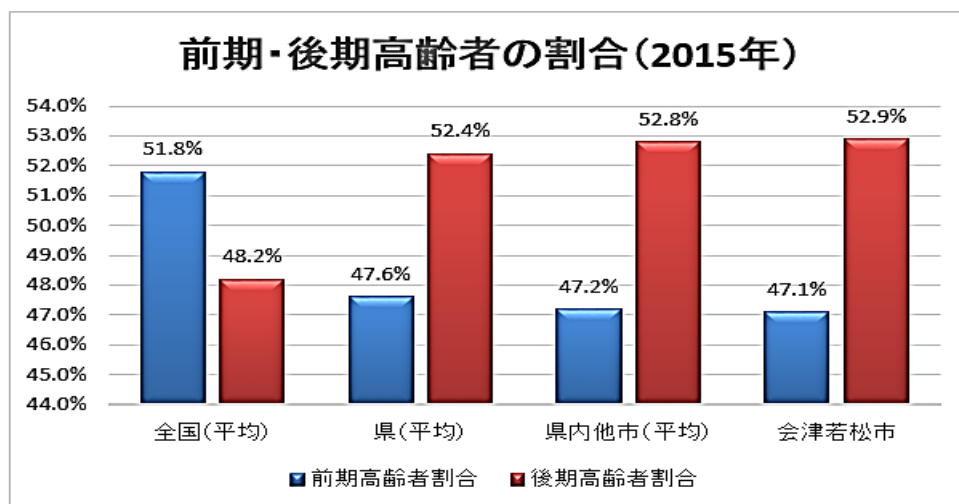


3. 前期・後期高齢者の割合

本市の傾向としては、県及び県内他市の各平均と同様、総じて前期高齢者の割合が低く、後期高齢者の割合が高い。

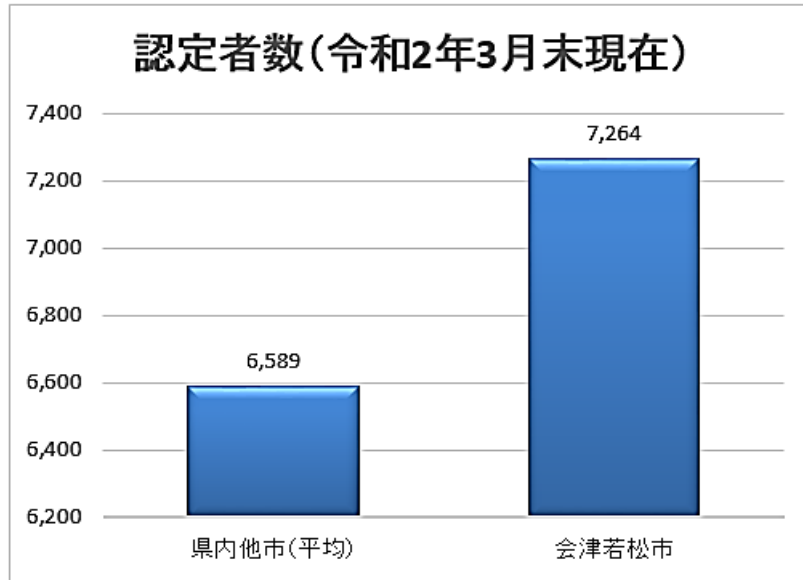
特に、本市の前期高齢者割合は47.1%で、全国（平均）51.8%と比較し4.7%と大幅に低く、また、後期高齢者割合は52.9%で、全国（平均）48.2%と比較し4.7%高い状況にあり、高齢者階層における高齢化が一段と進展していることがわかる。

人口構成や平均寿命の延伸等を勘案すると、こうした傾向はますます進展するものと推察される。



4. 認定者数

県内他市それぞれの人口規模の相違もあるため一概には比較できないが、令和2年3月末時点における本市の認定者数は7,264人で、県内他市(平均)6,589人と比較し675人多い。



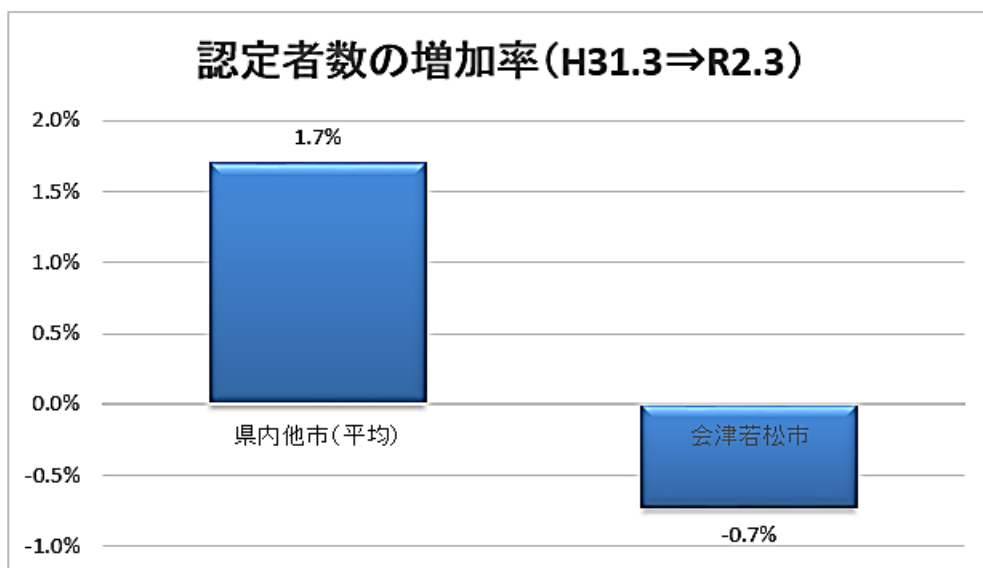
5. 認定者数の増加率

平成31年3月末時点の認定者数と令和2年3月末時点での認定者数を比較することにより、認定者数の増加率を算出した。

県内他市(平均)は1.7%と増加傾向にあるものの、本市においては-0.7%と減少に転じている。

【認定者数の推移】

	認定者数(平成31年3月末現在)	認定者数(令和2年3月末現在)
県内他市(平均)	6,479	6,589
会津若松市	7,317	7,264

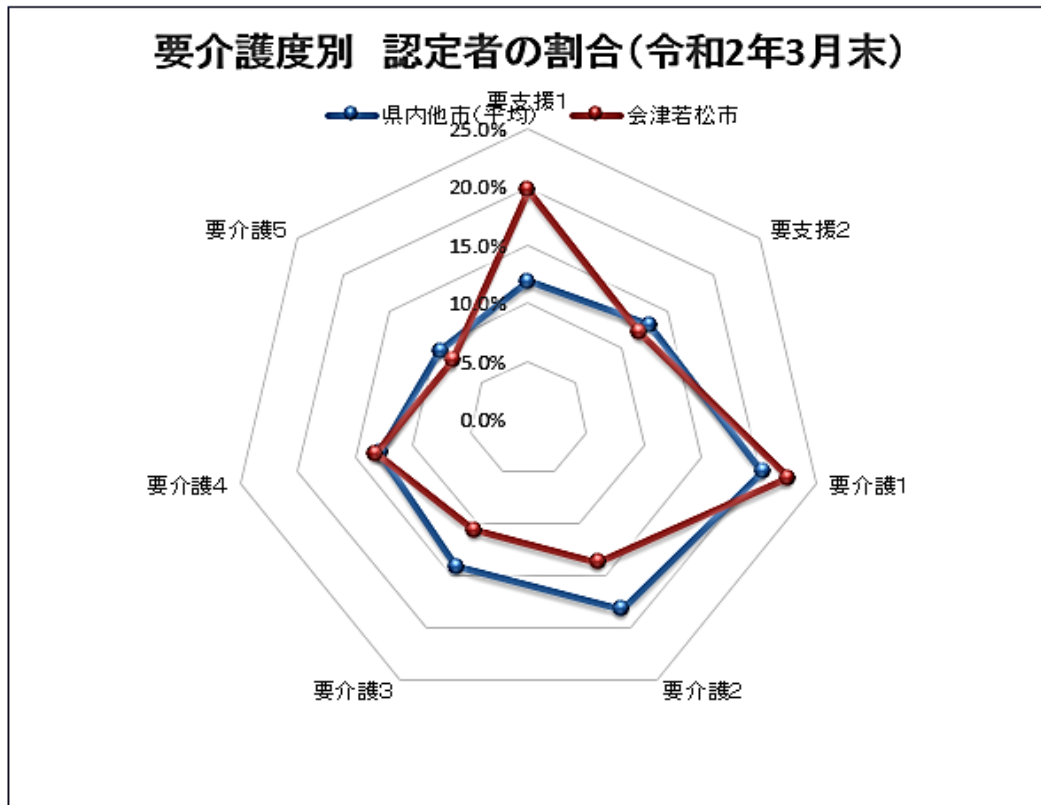


6. 要介護度別 認定者の割合

令和2年3月末時点における要介護度別 認定者の割合については、本市は要支援1及び要介護1の比較的軽度者の割合が高く、県内他市（平均）では要介護1及び要介護2の割合が高い。県内他市（平均）との比較による本市の主な傾向としては、要支援1及び要介護1の比較的軽度者の割合が高く、要介護2、要介護3の中度者の割合が低い状況となっている。

【要介護度別 認定者の割合(令和2年3月末)】

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
県内他市(平均)	11.9%	13.1%	20.4%	18.2%	14.1%	12.9%	9.5%
会津若松市	19.8%	12.0%	22.6%	13.6%	10.6%	13.2%	8.2%



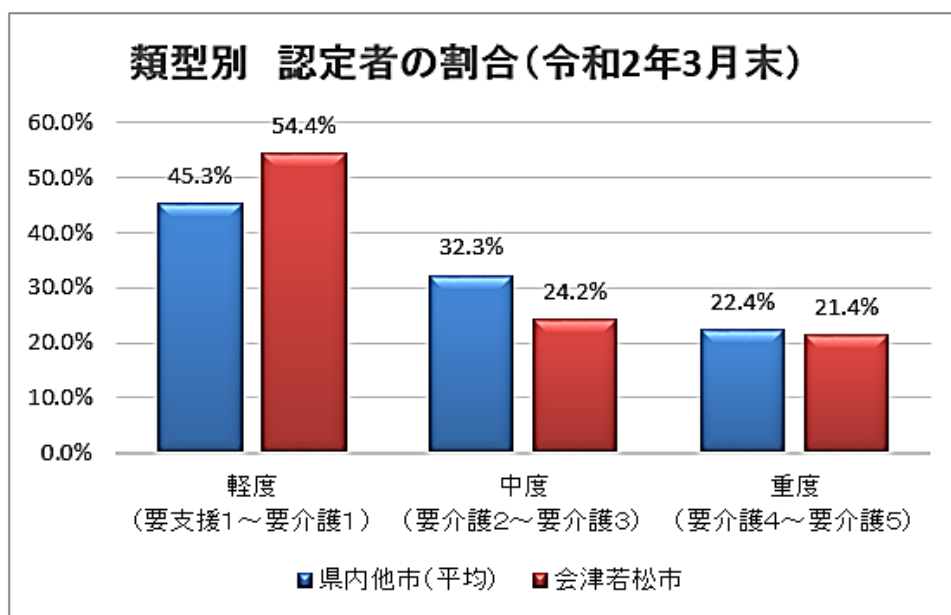
7. 類型別 認定者の割合

令和2年3月末時点における類型別 認定者の割合については、要支援1～要介護1までの軽度者の割合が、本市においては54.4%と県内他市（平均）の45.3%と比較し9.1%高く、一方、要介護2～要介護3の中度者の割合は24.2%で県内他市（平均）の32.3%と比較し8.1%低い。

また、要介護4～要介護5の重度者の割合は21.4%と、県内他市（平均）の22.4%と比較し1.0%低い状況となっている。

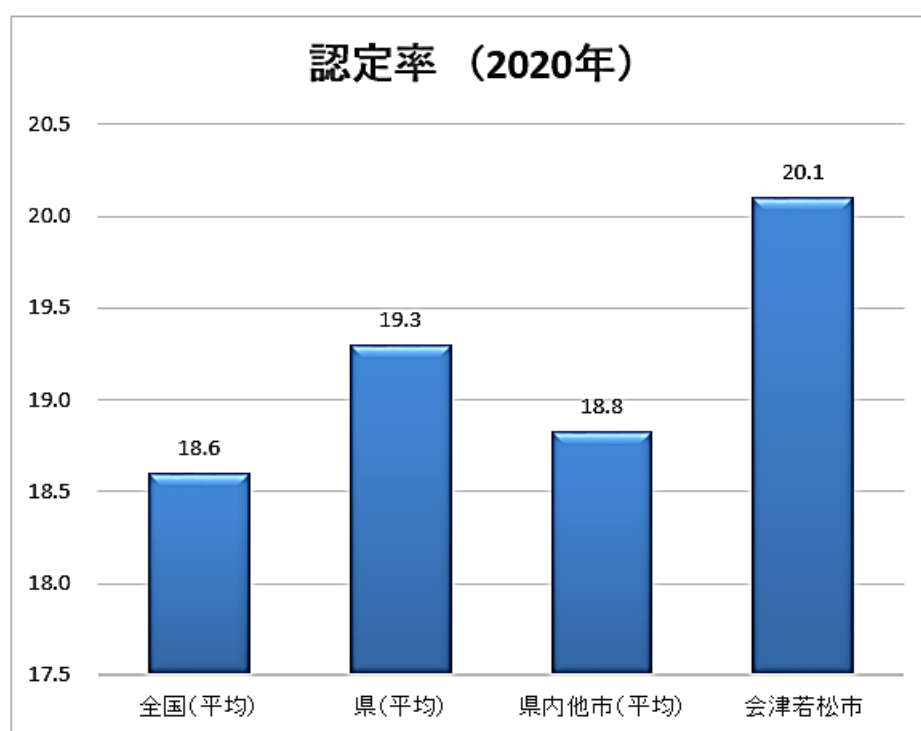
【類型別 認定者の割合(令和2年3月末)】

	軽度 (要支援1～要介護1)	中度 (要介護2～要介護3)	重度 (要介護4～要介護5)
県内他市(平均)	45.3%	32.3%	22.4%
会津若松市	54.4%	24.2%	21.4%



8. 認定率

2020年時点における本市の認定率は20.1%で、全国、県及び県内他市の各平均と比べ非常に高い状況である。特に、県内他市(平均)の18.8%と比較し、1.3%高い状況となっている。



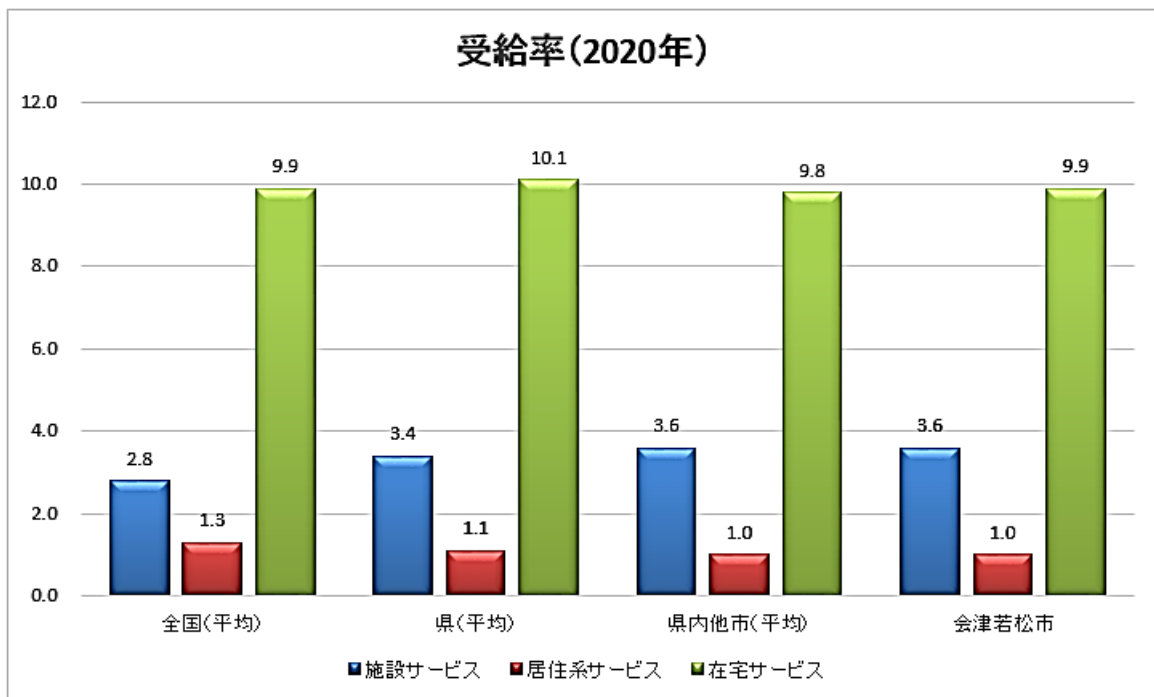
9. 受給率

2020年時点における本市の受給率（第1号被保険者に占める各サービスの受給者の割合）を見ると、施設サービスが3.6%で、全国（平均）2.8%、県（平均）3.4%よりは高いものの、県内他市（平均）と同水準にある。

同様に、居住系サービス及び在宅サービスについては全国、県及び県内他市の各平均とほぼ同水準となっている。

<各サービスの内訳>

在宅サービス	訪問介護、訪問入浴、訪問看護、訪問リハ、居宅療養管理指導、通所介護、通所リハ、短期入所、短期入所療養（老健）、短期入所療養（病院等）、福祉用具貸与、福祉用具購入、住宅改修、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、認知デイ、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、介護予防支援、居宅介護支援
居住系サービス	特定施設入居者生活介護（地域密着型含む）、認知症対応型共同生活介護
施設サービス	特養、老健、介護療養型医療施設、介護医療院

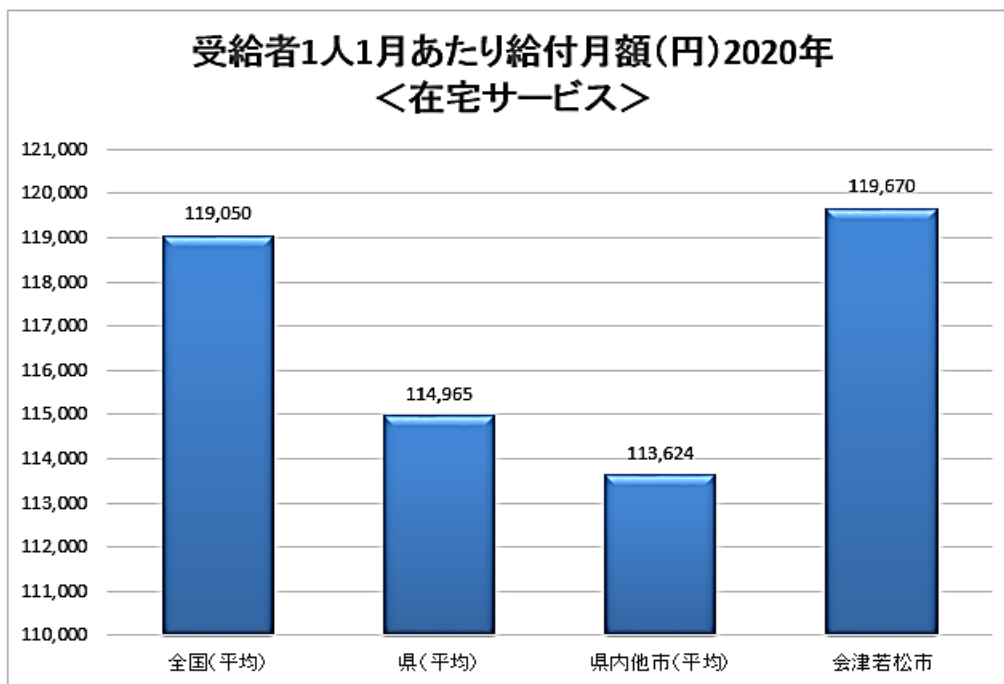


10. 在宅サービスにおける受給者1人1月あたり給付月額（円）

2020年時点の在宅サービスにおける受給者1人1月あたりの給付月額について、本市は119,670円で全国（平均）よりもやや高いものの、県内他市（平均）の113,624円と比較すると6,046円高い状況となっている。

受給者1人1月あたり給付月額(円) 2020年
<在宅サービス>

	在宅サービス
全国(平均)	119,050
県(平均)	114,965
県内他市(平均)	113,624
会津若松市	119,670



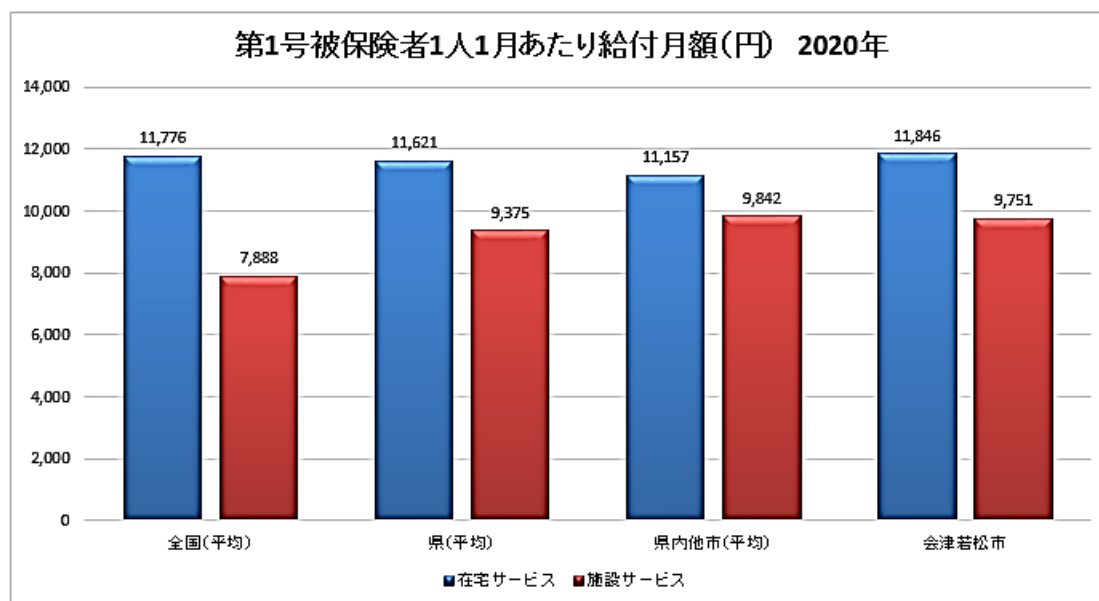
11. 第1号被保険者1人1月あたり給付月額(円)

2020年時点における第1号被保険者1人1月あたりの給付月額について、在宅サービスは本市では11,846円で、全国、県及び県内他市の各平均よりも高い状況にある。

一方、施設サービスについては、本市は9,751円で、全国及び県の各平均よりは高いものの、県内他市(平均)の9,842円よりは若干低い傾向にある。

第1号被保険者1人1月あたり給付月額(円) 2020年

	在宅サービス	施設サービス
全国(平均)	11,776	7,888
県(平均)	11,621	9,375
県内他市(平均)	11,157	9,842
会津若松市	11,846	9,751



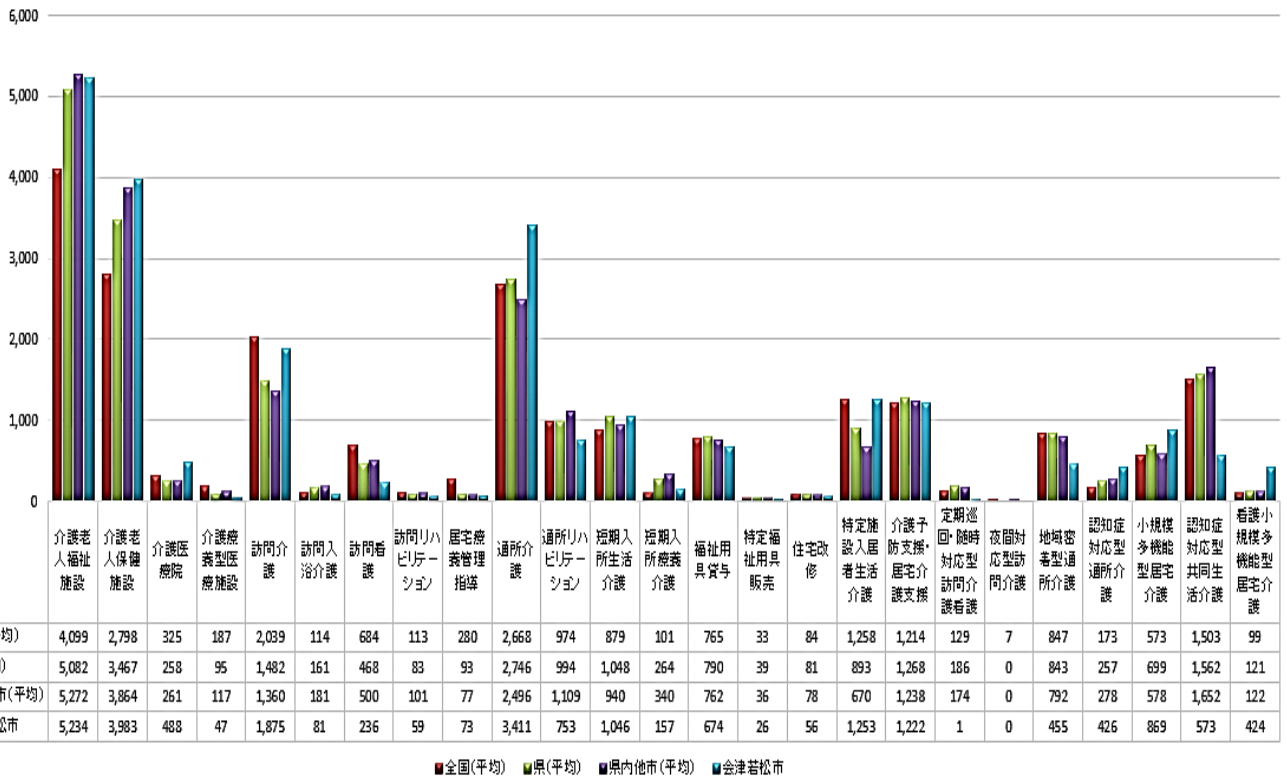
12. 【サービス別】第1号被保険者1人1月あたり給付月額（円）

2020年時点における第1号被保険者1人1月あたり給付月額について、本市の全体的な特徴としては、介護老人保健施設、介護医療院、通所介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護の各サービスにおける給付月額が、全国、県及び県内他市の各平均よりも高い傾向にあり、比較的充実したサービス提供体制が構築されているものと推察される。

一方、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、通所リハビリテーション、福祉用具貸与、住宅改修、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、地域密着型通所介護、認知症対応型共同生活介護の各サービスにおける給付月額は、全国、県、県内他市の各平均よりも低い。

給付月額の低いサービスについては、その要因として本市内におけるサービス提供体制が不十分である可能性が考えられることから、利用者のニーズや地域特性等を踏まえ、要因分析に基づくサービス提供体制の拡充等について検討する必要があるものと推察される。

【サービス別】第1号被保険者1人あたり給付月額(円) 2020年



13. 必要保険料月額（円）

令和2年11月時点における必要保険料月額については、本市は6,296円で、全国、県及び県内他市の各平均と比較し大幅に高い状況にある。

本市においては、特に「認定率」及び「在宅サービスにおける受給者1人1月あたり給付月額」が高く、こうした要因が必要保険料月額を引き上げる大きな要因となっている可能性があるものと推察される。

